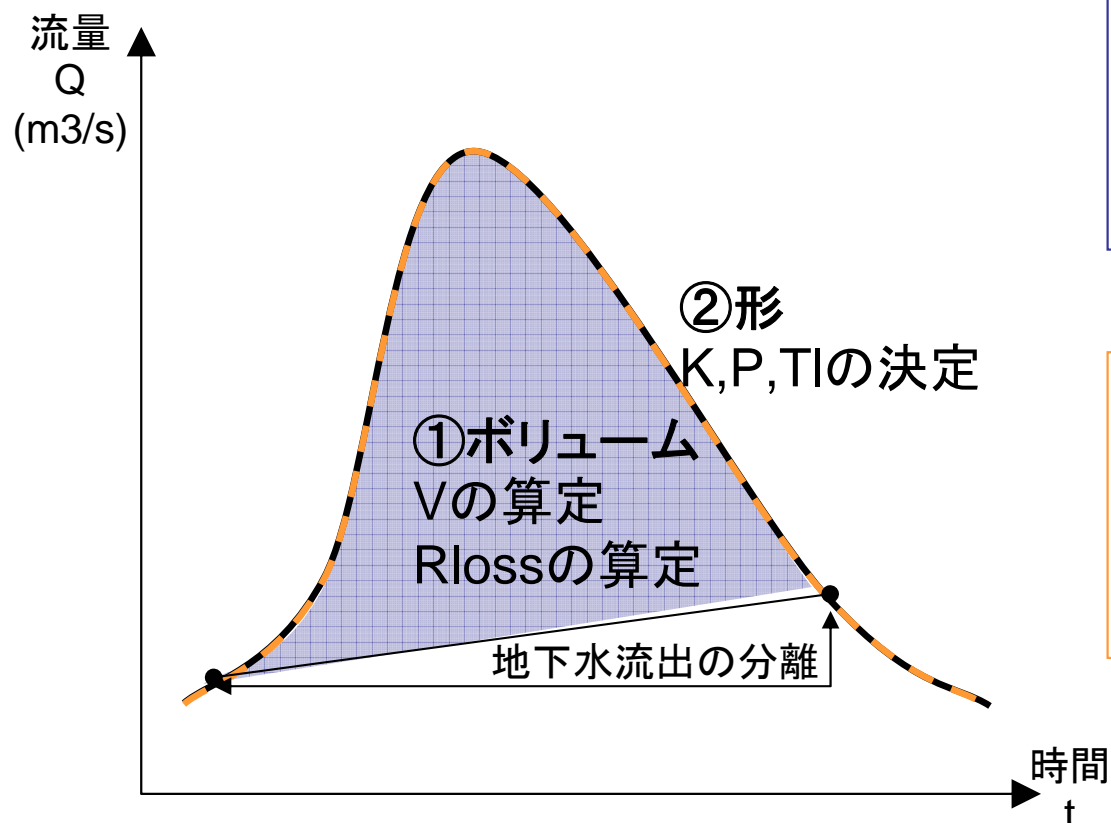


琵琶湖・淀川治水技術担当者会議の目的:

正確な洪水流量ハイドログラフを作ること



① ボリュームを正確に出すこと

<Rlossの算定>

$$V = R \times A - R_{\text{loss}} \times A$$

ゆえに $R_{\text{loss}} = R - V/A$

+

② ハイドログラフの形を精確に再現すること

<貯留関数の定数の設定>

K,P, TIの決定

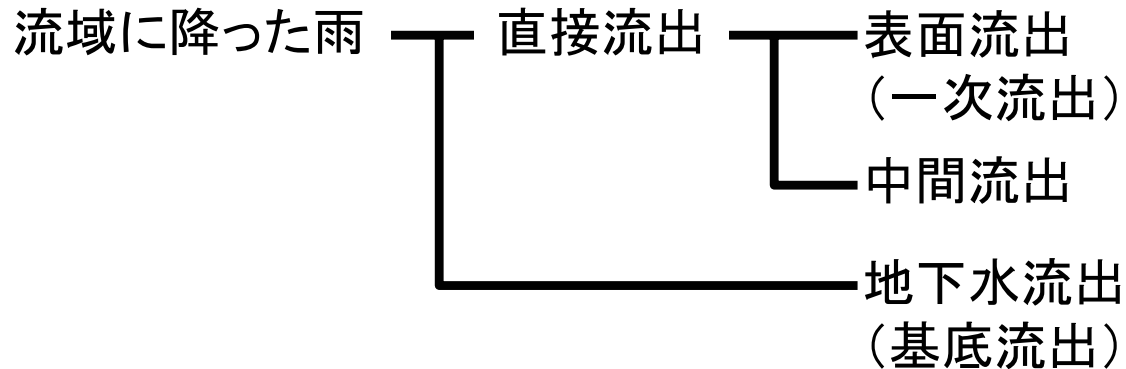
||

正確なH-Qを作成すること

真実を伝える<原点に戻る>

正確な洪水流量ハイドログラフを作ること

Rlossの設定



表面流出(一次流出): 地表に達した雨水が直接地表を通過して河道に入るもので、大部分は降雨時に流出する。この成分は他の流出成分より時間的に早く流出するので洪水ピークに大きく影響する。

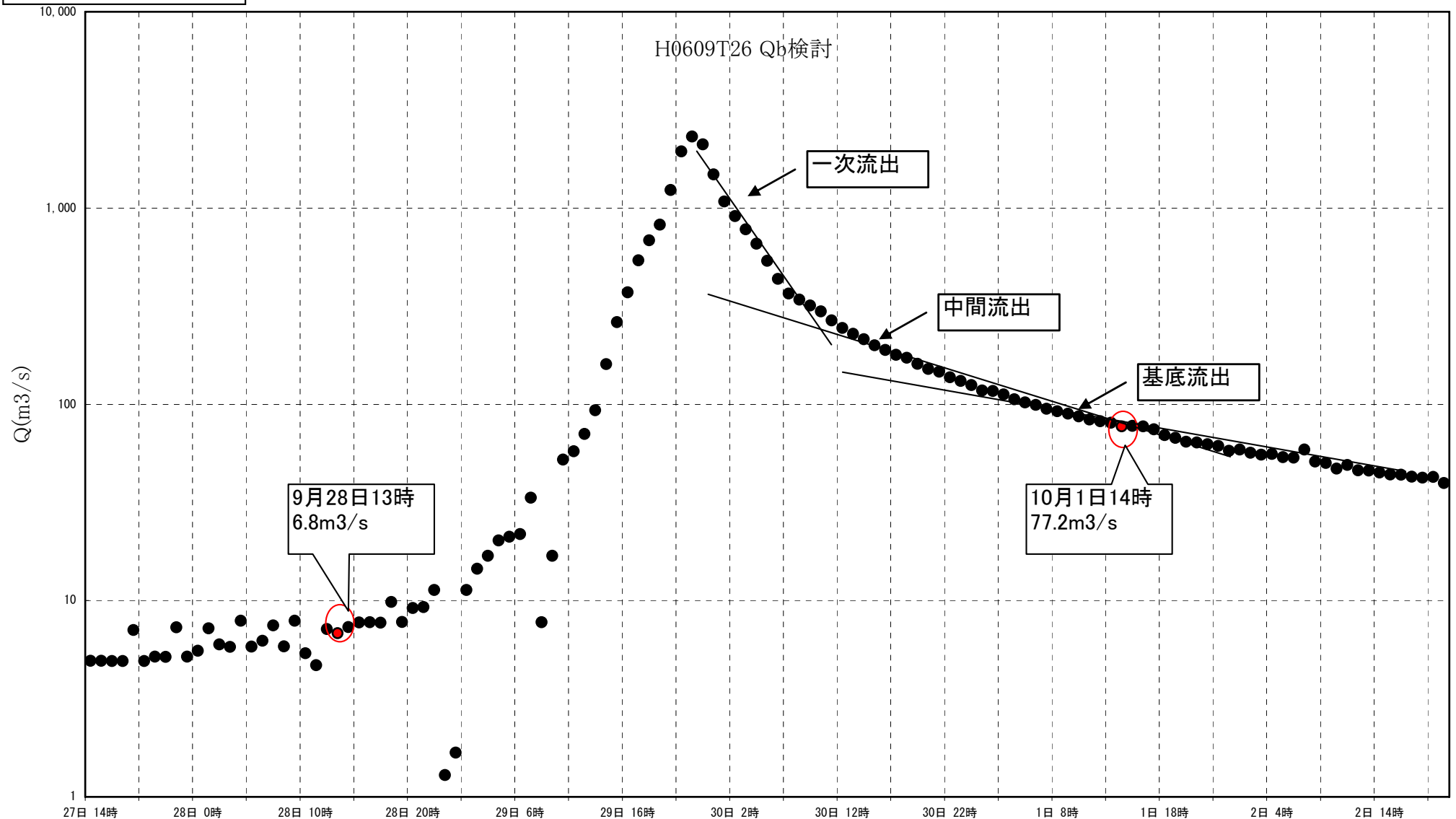
中間流出: 雨水のうち、いったん地中に浸入した水の一部が比較的浅い土層内で側方に流動し、山腹などから浸出して河道へ流出するもので、流域の透水性に支配され時間的には表面流出より遅れて流出する。

地下水流出(基底流出): 地中深く浸入した水が地下水面に到達し、地下水位を上昇させ、緩やかに河道に流出する成分で、1次流出、中間流出に比べて流出に要する時間は最も長い。おおよそ降雨とは関係のない流量を構成する。

真実を伝える<原点に戻る>

正確な洪水流量ハイドログラフを作ること

Rlossの設定



真実を伝える<原点に戻る>

流量観測時の注意事項

1. 観測所の概要(位置の設定)
2. 水位
(基準水位、第1見通し水位、第2見通し水位)
3. 観測所の零点高
4. 観測時刻
5. 断面把握
6. 観測箇所における測線設定
7. 記帳した野帳の保存

流量計算書(浮子)

平成 9年(西暦 1997年)

種類		観測所記号		604054							
水系名	淀川	河川名	木津川	観測所名	島ヶ原						
観測回数	第 1 回			断面番号	16						
観測月日	9月20日	観測時刻	始 9時19分 終 9時41分 平均 9時30分	天気	雨						
				風向	川上						
				風力	強風						
水位(基準)	全流量	流速測線数	平均水深	全断面積	水深平均	平均流速	流下距離				
(m)	(m ³ /sec)	(本)	(m)	(m ²)	(m)	(m/sec)	(m)				
2.31	254.64	4	66.74	127.64	333	1.99	100.00				
水位	基準水位	第1見通し	第2見通し	水位標	水位差	距離	水面勾配				
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(%)				
始	2.17	2.14	1.84	-	-	-	-				
終	2.45	2.38	2.08	-	-	-	-				
平均	2.31	2.26	1.96	-	0.30	100.00	333				
測線 番号	浮子の種類	投下時刻 (時分)	投下時間 (sec)	浮子流下 速度 (m/sec)	更生 係数	更生流速 (m/sec)	区分断面積(清水前後)			区分流量	
							第1断面積	第2断面積	第3断面積	(m ³ /sec)	
1	2	0.5	9:21	48.9	2.045	0.88	1.800	26.80	16.86	21.83	39.29
2	1	表面	9:23	35.9	2.785	0.85	2.368	49.24	41.09	45.17	106.96
3	1	表面	9:25	54.3	1.842	0.85	1.566	35.71	41.36	38.54	60.35
4	2	0.5	9:28	42.8	2.335	0.88	2.056	17.19	27.01	22.10	45.44
										127.64	252.04
4	2	0.5	9:30	45.0	2.222	0.88	1.955	17.19	27.01	22.10	43.21
3	1	表面	9:33	50.2	1.992	0.85	1.693	35.71	41.36	38.54	65.25
2	1	表面	9:35	36.8	2.717	0.85	2.309	49.24	41.09	45.17	104.30
1	2	0.5	9:39	43.2	2.315	0.88	2.037	26.80	16.86	21.83	44.47
										127.64	252.23
流下 状況	計 509.27										
	1/2 254.64										